

2024年(令和6年)8月28日(水)

DE&Iテーマに開催 産学官と合同セミナー

日本技術士会中国本部

日本技術士会中国本部(福田直三本部長)が主催する地域産学官と技術士の合同セミナーが24日に鳥取市で開かれた(II写真)。今年のテーマは「みんなで考えるDE&I(多様性・公正性・包



括性)。技術士がこの課題と役割について意見を交わした。

とりぎん文化会館であったセミナーには中国地方などで活動する技術者のほか、鳥取大学や鳥取環境大学のトップら70人以上が参加。福田本部長は「専門知識は常にアップデートが必要。社会貢

献へのプラットフォームにいる我々は、今日の講演でさらに知見を高める」。また、来賓に招いた平井伸治知事は「女性管理職の割合が全国でトップ。研修だけでは前に進まない問題で、まずは実践が必要。任命には職場環境や周囲のサポートも欠かせないし、偏見を取り払わなくてはだめ。

きつと実りの多い社会になる」などあいさつした。

特別講演では県産業技術センターの高橋紀子理事長が鳥取県の職員時代に経験したことや現在の職場での取り組みについて紹介。「DE&Iが組織や社会を変える。センター

にも女性の技術者がおり、2人は技術士。民間企業の研究者と意見を交わすには必要な資格だと話しており、心強い。いつの日か、女性技術者という言葉も使わなくなるはず」と話した。

また、一般の講演ではエスジーズの技術士・赤井伸江さんが「技術士と女性活躍」。県女性応援課の安養寺由桂課長が「鳥取県におけるジェンダー平等に向けた取り組み」。鳥取大学工学部の長曾我部まどか准教授が「まちを共に創る」。鳥取環境大学の甲田柴之准教授が「人間と環境の関係性について一考察」をテーマに様々な思いを会場に響かせた。